

## 令和3年度 生涯学習実践作文募集案内

# 『生涯学習の実践 ～Withコロナ時代 私にできること～』の作文を募集します

主催 公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部

後援 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会

### 1 テーマ設定の趣旨

2020年（令和2年）は、新型コロナウイルスが世界的に流行し、まさにコロナ時代の到来とも言うべき1年となりました。本来であれば、年明けと同時に多くの人々がオリンピック・パラリンピック開催の年と胸を躍らせていたはずでした。何気ない日常はもう当たり前ではなくなり、いわゆる「新しい生活様式」の実践、不要不急の外出の自粛など、人々の日々の生活は変化を強いられ、先行きの見えない不安を感じる年でもありました。

このような状況下において、学校教育や生涯学習・社会教育は大きな制約を受けた一方、オンラインによる学習や情報発信、テレワークなど、ICT等を活用した新しい学びや働き方が進んだ面も見られました。今後、公民館等の社会教育施設においても、従前の対面でのコミュニケーションを通じた学習活動に加え、ICT等を活用した学習活動によって新たな学びを創造し、地域において豊かな学びを生み出すことが求められることでしょう。

また、Withコロナの時代にあっては、人と人の距離の確保が求められるなど、直接的な交流がなくなり、人間関係が希薄になっていくのではないかと懸念の声も聞かれます。そのため、人と人とのつながり、絆をどう作っていくかが大切になります。これまでの常識にとらわれることなく、試行錯誤を重ねながらも失敗に学び、「できること」から取り組み、人と人とのつながりを構築し、生きがいを見いだすことが、今後の人生を充実させる上からも重要になると考えます。

そこで、今年度の生涯学習実践作文は、主題を「生涯学習の実践」、副題を「Withコロナ時代 私にできること」とし、コロナという危機の中で、お互いへの思いやりを忘れず、仲間と共に力を合わせてどうつながっていくか、日頃皆さんが生涯学習活動として、職場や地域、人々とのかかわりの中で工夫して取り組まれていること、又はこれから取り組もうとしていることについて、具体的に述べていただきたいと思えます。

### 2 応募資格 埼玉県内に住んでいる方、又は県内で働いている方

### 3 応募要件

- (1) 公的機関、市販の図書・雑誌等に既に発表した作文並びに他団体に応募した作文は、応募できません。
- (2) 前年度の最優秀賞・優秀賞の受賞者の応募作文は、今年度の受賞の対象となりません。
- (3) 応募作文の著作権は当支部に属し、提出された原稿（写真・資料等を含む）は返却いたしません。なお、写真・資料等は審査の対象外です。

### 4 応募形式

- (1) 400字詰めA4判、横書き縦長の原稿用紙を使用し、4枚以上6枚以内にまとめてください。
- (2) ①題名（テーマと同じでなくとも、同じ趣旨の題名でも可）②氏名（ふりがな）③郵便番号・住所・電話番号を、原稿用紙1枚目の6行分に記入してください。
- (3) 本文は原稿用紙1枚目の7行目から、ペンかボールペンで記入してください。
- (4) 上記(1)～(3)と同様の書式でのパソコン仕様でも結構です。ただし、パソコン仕様では、A4判縦長の白紙に打出してください。

### 5 応募締切 令和3年8月31日（火）〔必着〕（簡易書留でお送りください。)

### 6 審査 (公財)日教弘理事長が委嘱する審査委員が審査します。

### 7 入選発表・表彰等

- (1) 入選発表は、令和3年10月下旬、本人宛の通知をもってこれにかえます。
- (2) 入選作品の表彰は、11月24日（水）（予定）に行い、その際、下記の助成金を贈呈します。  
最優秀賞（1編）10万円、優秀賞（4編程度）各5万円、  
優良賞（10編程度）各3万円、佳作（若干編）各商品券（5千円）  
なお、入選以外の応募者には記念品を贈呈します。
- (3) 最優秀賞・優秀賞に入選した作品は、後日冊子にまとめ「教弘文庫」の一つとして県内の教育関係機関・団体並びに広く県民に配布し、生涯学習の発展に役立ててまいります。

### 8 応募作文の送り先・問い合わせ先

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-24 TEL 048-822-7551（代）  
公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部 生涯学習実践作文 係

### 9 その他

募集により取得した個人情報、当事業実施のための連絡等以外には使用いたしません。